

デンタルスタッフ・ミライ・プロジェクト ニュース

vol.52

歯科の感染対策は歯科医療に携わる全員が理解し、実践することが必要不可欠です。

感染予防対策はスタッフが主役！

「一般歯科診療時の院内感染対策に係る指針」(第2版 2019年3月29日版より)



厚生省は2019年12月5日に「歯科医療機関における院内感染対策について、適切な滅菌処理方法の周知は喫緊の課題である」とし、「一般歯科診療時の院内感染対策に係る指針」(第2版・2019年3月29日版)に基づき、適切な院内感染対策を実施するよう求めています。第1版(2014年3月31日版)からの主な変更・追加点をご紹介します。

一般歯科診療時の院内感染対策に係る指針より(要旨)

- ♥ 通常の外来診療における一般の歯科治療であっても、観血治療とみなす必要があります。治療後のグローブを外す時はグローブの表面に触れないように注意が必要です。またグローブ内には手指に付着していた細菌が増殖している可能性があるため、診療前など消毒薬を含む洗剤と流水で水洗いすることが強く求められます。
- ♥ アルコール綿について、滅菌状態と有効濃度が長期間保てるため、個包装製品の使用が推奨されます。
- ♥ 使用したハンドピースは患者ごとに交換し「可能ならば全ての形状の被滅菌物(固形、中空物、多孔体、一重包装、二重包装)を滅菌できるとされているクラスBオートクレーブ滅菌することが強く勧められる」と変更されました。

♥ バー、根管治療用の器具等は、超音波洗浄の後にオートクレーブ滅菌を行う事が強く推奨されます。ウォッシャーディスインフェクターを使用し、塩基性洗剤で洗浄することは、院内における交差感染を防ぐために有効な手段です。

♥ 日本補綴歯科学会の感染対策指針(2007)では、アルジネート印象の水洗は120秒間、シリコンラバー印象は30秒間の水洗が必要とされています。その後、適切に消毒する必要があります。

♥ 歯科技工士に技工物の製作を依頼するための印象や模型は適切に消毒されている必要があります。歯科技工士側も医療従事者であるという自覚を持ち、歯科医師との間で消毒に関する情報交換を行うことが勧められます。

♥ ウイルス感染症罹患者に備えてワクチン接種を実施を徹底させておく必要があります。また抗体は減少していくことにも注意を払う必要があります。

♥ 使用する準備を行なったが患者に使用することなく廃棄する場合も、一般廃棄物として捨てるのではなく、感染性廃棄物として捨てるようにします。



1冊 1,300 円(税込・送料無料)で販売中
(取扱い：岡山県保険医協同組合)

DH Pro.セミナー講師 山崎瑞穂先生による コラムのコーナー

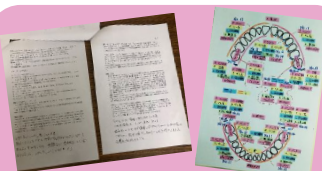


新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

12月8日、第4期DH Pro.セミナー症例(学習)発表会+山崎瑞穂歯科衛生士講演会が開催されました。

受講生は半年間、患者様のため、勤務先医院様のため、自分のため、歯科衛生士として更なるスキルアップを目指し、指の力、シャープニング技術、SRP技術を学び、レポート作成やトレーニングに励みました。また、同時に症例作成に取り組み、その集大成を発表しました。

発表会の後には卒業会が催され、花束贈呈が行われました。これからは臨床で悩んだり、色んなことがありますが、同期メンバーと励まし合いながら、乗り越えたことを思い出してください。みなさんならきっと大丈夫です。活躍を応援しています。いつまでも^^



受講生の工夫を凝らしたレポートと、院長先生からの励ましのメッセージ。

第4期 season 2019 DH Pro. Seminar 卒業おめでとうございます！



半年間、頑張られた受講生の皆様、送り出してくださった勤務先医院様、誠にありがとうございました。DH Pro.セミナーは受講生と共に成長し続けます！

